

Light up! Brush up!

じ た そんちよう あか
自他を尊重し、まわりを明るくする

しゅたいてき まな つづ じぶん
主体的に学び続け、自分をみがく



発行者 今村 貴文

6月は心のきずなを深める月間。やなせさんの生き方 「人生は喜ばせごっこ」を、今学び、今自分のものに!

「うどの大木!」タカちゃんは子供の頃、周りの子供や大人からときどきそう言われていました。意味は、「体ばかり大きいけど何の役にも立たない」です。学年で一番体が大きかったタカちゃんは、走るのが遅く、運動は得意ではありませんでした。なので、運動会やスポーツの試合の時に「うどの大木」と言われていました。タカちゃんは、言い返す勇気もなく、心がとても傷ついているのに、それがばれないよう無理して笑顔をつくっていました。本当はすごく悔しいのに。

「私の弟は、うどの大木じゃない!二度と言うな!」そう周りに言ってくれたのはタカちゃんより3つ上のミホ姉です。タカちゃんには、ミホ姉がアンパンマンのような正義の味方に見えました。「自分は役に立たない」と思っていたタカちゃんは、そのときから自然に笑えるようになりました。

タカちゃんは、私(今村貴文)です。上の話は、恥ずかしながら本当の話です。七城中では、「Light up!」「自他尊重」「勇気」「笑い合える七城中」などの前向きな言葉を目指し、みんなで実現するよう努力しています。ここにあと一つ加えたいのが、アンパンマンの作者やなせたかしさんの言葉(生き方)「人生は喜ばせごっこ」です。意味は、「人は、人が喜んで笑う声を聞くのが一番うれしい。だから喜ばせごっこをしてみんなが楽しい人生にしよう。」です。

七城中の一人ひとりが、「人生は喜ばせごっこ」の生き方を学び、自分のものにすれば、タカちゃんのように傷つく人はいなくなり全員が笑い合える学校に必ずなります。

でももし、心無い言動で傷つけ合うなかまを見たら、あなたは どうしますか・・・。

私はアンパンマンのように勇気を出して言います。

「自分が言われてうれしいことを人にも言おう。自分がされてうれしいことを人にもしよう。」

七城中HP
二次元コード



今年もやります、七城中の伝統行事「米作り」! 1年生が種まきをしました。(5月27日)

1年生が、ヒノヒカリとクレナイの種まきをしました。

勤労生産指導員の橿原さん、渡辺さん、穂波さんの分かりやすい指導を受けながら、丁寧に3・4粒ずつ種をまきました。「作業はきつかったけど、でも、その分、成長が楽しみです!」と、1年生は笑顔で感想を述べました。これから田植えに向けて、水の管理をがんばります。

